

平成23年政事業レビューシート

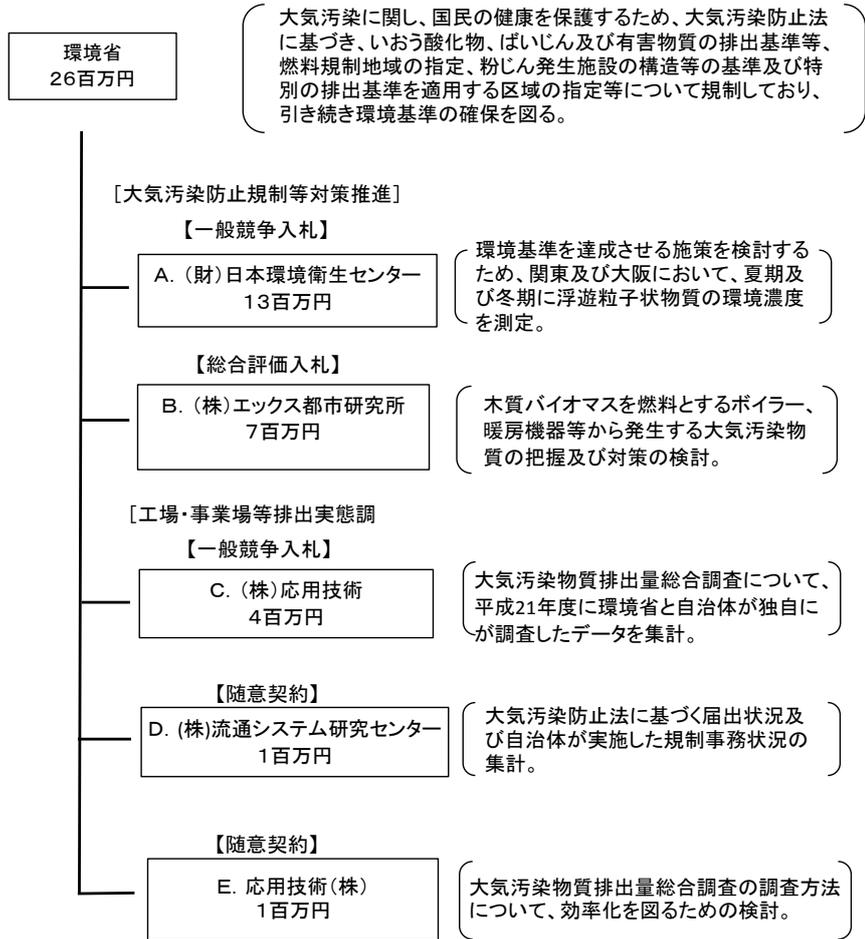
(環境省)

<b>事業名</b>	大気汚染防止規制等対策推進費	<b>担当部局</b>	水・大気環境局			<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	昭和47年度	<b>担当課室</b>	大気環境課			大気環境課長 山本 光昭	
<b>会計区分</b>	一般会計	<b>施策名</b>	3-1 大気環境の保全(酸性雨・黄砂対策を含む)				
<b>根拠法令 (具体的な 条項も記載)</b>	大気汚染防止法第3条、5条の2、23条	<b>関係する計画、 通知等</b>	-				
<b>事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)</b>	大気汚染に関し、国民の健康を保護するため、大気汚染防止法に基づき、いおう酸化物、ばいじん及び有害物質の排出基準等、燃料規制地域の指定、粉じん発生施設の構造等の基準及び特別の排出基準を適用する区域の指定等について規制しており、引き続き環境基準の確保を図る。						
<b>事業概要 (5行程度以 内。別添可)</b>	1. 浮遊粒子状物質の環境濃度の測定。 2. 木質バイオマスを燃料とするボイラー、暖房機器の規制の検討等、環境基準を確保する施策を行うため、適切な使用方法を促進するガイドラインの作成。 3. ばい煙発生施設から排出される硫酸酸化物、窒素酸化物等の排出状況を把握するため調査を実施。 4. ばい煙発生施設等に係る届出状況及び立入検査等の規則事務の実施状況を把握するための調査を実施。						
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・ 執行額 (単位:百万円)</b>		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予 算 の 状 況	当初予算	60	95	57	31	42
		補正予算	-2				
		繰越し等			-8	8	
		計	58	95	49	39	42
	執行額	42	60	26			
執行率(%)	72%	63%	53%				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	1. 浮遊粒子状物質の環境濃度の測定 本拠出金は、浮遊粒子状物質の環境基準達成に向けた総合対策を検討する基礎資料の作成を行うものであるため、定量的な成果目標を示すことはできない。	成果実績					
		達成度	%				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	2. 木質バイオマスを燃料とするボイラー等の適切な使用方法を促進するガイドラインの作成 本拠出金は、木質バイオマスを燃料とするボイラー等の適切な使用方法を促進するガイドラインの検討を行うものであるため、定量的な成果目標を示すことはできない。	成果実績					
		達成度	%				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	3. SOx、NOx、ばいじんの排出量 ばい煙発生施設から排出されるSOx、NOx及びばいじんの排出状況を把握する調査のため、定量的な成果目標を示すことはできない。	成果実績					
		達成度	%				
<b>成果目標及び 成果実績 (アウトカム)</b>	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	4. ばい煙発生施設等に係る届出状況及び立入検査等の調査 大気汚染防止法の施行状況等を把握する調査のため、定量的な成果目標を示すことはできない。	成果実績					
		達成度	%				
<b>活動指標及び 活動実績 (アウトプット)</b>	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	1. 浮遊粒子状物質の環境濃度の測定 成分分析 33 関東(4地点)、関西(3地点) 夏季及び冬季に5回測定	活動実績 (当初見込み)	成分	2,310	2,310	2,310	-

活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	2. 木質バイオマスを燃料とするボイラー等の適切な使用方法を促進するガイドラインの作成 本拠出金は、木質バイオマス燃料とするボイラー等の適切な使用方法を促進するガイドラインの検討を行うものであるため、定量的な活動指標を示すことはできない。				件			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	3. SOx、NOx、ばいじんの排出量 220,081(ばい煙発生施設・平成20年度) 91,067(工場・事業場・平成20年度)				千m <sup>3</sup> (SOx) 千m <sup>3</sup> (NOx) t(ばいじん)	176,956/年 356,011/年 47,660/年	調査対象外	調査対象外
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	4. ばい煙発生施設等に係る届出状況及び立入検査等の調査 129(自治体)				件	届出件数 220,081 立入検査 25,506	届出件数 218,695 立入検査 25,080	調査中
単位当たりコスト	1. 浮遊粒子状物質の環境濃度の測定 5,630(円/成分分析)		算出根拠	22年度執行額/22年度成分分析数				
単位当たりコスト	3. SOx、NOx、ばいじんの排出量 1,214(円/ばい煙発生施設数)		算出根拠	21年度執行額/21年度ばい煙発生施設数				
単位当たりコスト	4. ばい煙発生施設等に係る届出状況及び立入検査等の調査 3,790(円/立入検査数)		算出根拠	21年度執行額/21年度立入検査数				
平成23・24年度予算内訳	費目		23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	環境保全調査費		31	41	24年度は、3年に一度実施している大気汚染物質排出量総合調査を実施する必要があるため、増額とするが、前回の執行状況を鑑み必要最低限の積み増しとし、かつその他の経費については不急なものは極力削減をした。			
	環境保全調査等地方公共団体委託費		1	1				
計		31	42					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>1. SPMの環境基準を達成している全国の測定局数は99.5%(H20、21年度)に達している状況となった。そのため、平成23年度において、これまで測定結果を元に測定地域のSPM濃度の経年変化を精査し、測定地域における規制の効果を検証する予定。</p> <p>2. 木質バイオマスを燃料とするボイラー等の規制の検討について、検討委員会を開催し、海外における規制の内容及び燃烧技術等の検証を行った結果、ガイドライン作成に必要な資料、知見等を得た。</p> <p>3. 大気汚染防止対策を検討する資料作成のため、平成21年度に実施した大気汚染物質排出量調査の結果と自治体が独自に行った大気汚染物質排出量調査の結果を集計し、平成20年度の大気汚染物質排出量を把握した。</p> <p>4. 平成21年度に全国の自治体に大気汚染防止法に基く届出の件数、自治体の規制事務の件数から、届出状況の増減、規制事務の状況等を把握した。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善	<p>調査に係る人件費、対象地域等を今一度精査することにより、過大な要求にならないよう留意すること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>24年度は、3年に一度実施している大気汚染物質排出量総合調査を実施する必要があるため、増額とするが、前回の執行状況を鑑み必要最低限の積み増しとし、かつその他の経費については不急なものは極力削減をした。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
<p></p>			

資金の流れ  
(資金の受け  
取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位: 百万円)



費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

A.(財)日本環境衛生センター			E.応用技術(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	浮遊粒子状物質の環境濃度測定	13	雑役務費	調査方法の改善事項の検討	1
計		13	計		1
B.(株)エクス都市研究所			F		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	木質バイオマスを燃料とする海外の 基準等の調査及び検討会の運営	7			
計		7	計		0
C.応用技術(株)			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	全国のばい煙発生施設から排出され る大気汚染物質排出量の集計	4			
計		4	計		0
D.(株)流通システム研究センター			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	自治体からの回答結果の集計	1			
計		1	計		0

## 支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本環境衛生センター	浮遊粒子状物質の環境濃度の測定及び分析	13	4	50%
2					
3					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)エックス都市研究所	木質バイオマスを燃料とする海外の基準等の調査及び検討会の運営	7	1	70%
2					
3					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	応用技術(株)	全国のばい煙発生施設からの大気汚染物質排出量の集計	4	1	80%
2					
3					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)流通システム研究センター	大気汚染防止法に基づく届出状況及び自治体の規制事務の集計	1	随意契約	
2					
3					

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	応用技術(株)	大気汚染物質排出量総合調査の調査方法の改善検討	1	随意契約	
2					
3					